

日米安全保障条約ってなに？

日米安全保障条約（日米安保）は、「米国の日本防衛」と「日本の基地提供」を柱にした条約といわれています。しかし本質は、米軍の日本駐留とそこでの活動の自由を保障した条約です。日本にとっては不平等条約です。駐留の目的は、米国の世界戦略を実現するためです。朝鮮戦争時期、冷戦期、そして連戦終結後の今日までそれは一貫しています。世界情勢の変化とそれに対応した米国の軍事戦略の変化に応じて、日米安保の実質は変えられてきたのです。

〈日米安保関連年表〉

- 1945年 敗戦。米軍を中心とした占領軍の駐留。
- 1950～53年 朝鮮戦争 →米軍が日本・沖縄から出撃
- 1951年 日米安保条約（旧）締結
→サンフランシスコ講和条約と同時。占領軍が在日米軍に。
- 1954年 自衛隊発足
- 1960年 日米安保条約（新）締結
→今年2010年は、ここから50年。
- 1965～73年 ベトナム戦争 →米軍が日本・沖縄から出撃
- 1972年 占領が続いていた沖縄が日本に「復帰」
- 1978年 日米防衛協力のための指針（ガイドライン）合意
→日本によるシーレーン防衛（安保の拡大）。
- 1991年 ソ連崩壊。冷戦終結 →60年安保の前提がなくなる。
湾岸戦争 →米軍が日本から出撃
- 1995年 沖縄で米兵による少女強姦事件 →反米軍基地の声高まる
- 1996年 日米安保共同宣言 →冷戦後の安保継続への模索の開始
- 1997年 新ガイドライン 1999年 周辺事態法
→安保の対象を地域（「極東」）から事態へ変更。世界中に。
- 2001年 米国のアフガニスタン攻撃
→米軍が日本・沖縄から出撃＋自衛隊がインド洋で米軍支援
- 2003年 イラク戦争
→米軍が日本・沖縄から出撃＋自衛隊が米軍支援
- 2005～06年 米軍再編の日米合意

2010 安保連絡会ってなに？

●首都圏（東京、神奈川、埼玉、千葉）を中心に、戦争反対、軍事基地反対、安保反対の運動に取り組んでいる団体や個人が集まってつくった連絡会です。60年安保闘争から50年となる今年、それぞれの活動を連携しながら、日米安保破棄を目指して、安保反対の大きな声を集めるべく活動しています。

6月19日に大集会・デモを計画中！

●2010 安保連絡会の活動の集約として、6月19日土曜日（50年前の安保条約自然成立の日）に社会文化会館での大集会とデモを準備中です。ぜひ予定に入れて下さい。いっしょに「安保反対！」「安保破棄！」の声を大きく上げましょう！

賛同者募集中！

●2010 安保連絡会では、財政支援のための賛同者を募集しています。趣旨に賛同して活動を支援いただける方は、ぜひ賛同者になってください。

【賛同費】団体 3000円／個人 1000円

【郵便振替】

口座番号：00120-7-377692

名 義：2010 年安保連絡会

*団体名称は「2010 安保連絡会」ですが、口座の名義は「2010年～」と「年」が入ります。

【連絡先】

2010 安保連絡会

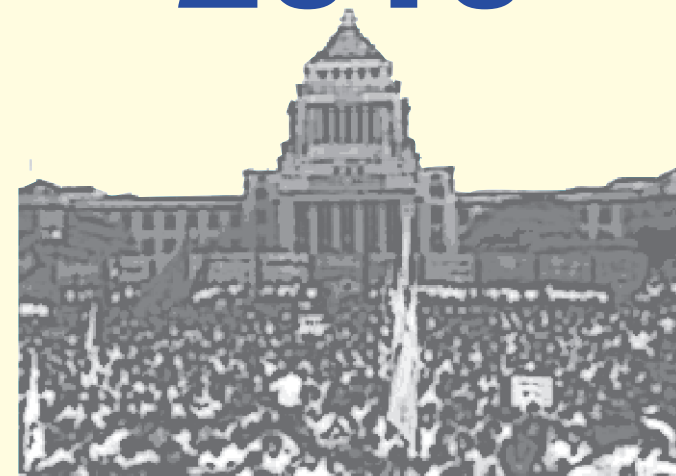
東京都千代田区三崎町 3-1-18
近江ビル 4F 市民のひろば気付
TEL/FAX：03-5275-5989



もうやめよう！ 日米安保 条約

——— いらぬ5つの理由

2010



安保連絡会